

平成19年度第2回入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所		平成20年3月4日(火) 海上保安庁会議室	
委員		委員長	平野 廣和 ;中央大学総合政策学部教授
		委員	杉本 洋文 ;東海大学工学部教授
		委員	伊藤 文夫 ;弁護士
抽出案件		<備考>	
	工事(小計)	3件	委員会開催にあたり 委員長に平野 廣和 委員 を選任した。
	一般競争	3件	
	公募型及び工事希望型指名競争	-	
	指名競争	-	
	随意契約	-	
	建設コンサルタント業務等	1件	
	物品又は役務等	4件	
	合計	8件	
		意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する海上保安庁の回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容		別紙のとおり	

別紙

委員	海上保安庁
<p>1. 入札・契約手続の運用状況及び指名停止運用状況</p> <p>2度目であったり、悪質な場合の指名停止の措置について、指名停止期間の加算は行われるのですか。</p> <p>その場合、何年前までと決まっているのですか。</p> <p>2. 抽出事案の審議</p> <p>①ENGINE(PT6A-60A型) 4台整備<役務等;一般競争契約>、②ENGINE(PT6A-60A型) 2台追加整備<役務等;随意契約></p> <p>この2件の契約は同じエンジンについてのものですか。</p> <p>組立の契約においては、入札を行わないのですか。</p> <p>随意契約において言い値を採用していないということをどう担保していますか。</p> <p>値引き交渉は行ったのですか。</p> <p>値引き交渉の過程でどのようにディスカウントしていったのか等についてわかりやすく説明できることが大事です。</p>	<p>独占禁止法違反や談合などの悪質な事案の場合、過去3年までの事案について指名停止期間を1.5倍まで延長することができます。</p> <p>別のものです。</p> <p>分解した工場で組立てるほうが有利であり、見積を徴取して予定価格を積算し、随意契約としています。</p> <p>部品価格についてはプライスリストと照合しています。</p> <p>一社しか請け負わない状況ですが、我々が想定していない場合もあるかもしれませんので、分解検査の契約時は一般公告を行っています。</p> <p>行っています。</p>

随意契約の方の金額が大きいので、結果を見ると疑念を抱かれかねません。

見る人の立場、国民の立場に立った公表の方法を考えていく必要があります。

どのような経緯で随意契約になったのか、一社しか請け負わない状況、プライスリスト、有利随契等についての素人でもわかるような一枚紙をつけてはいかがですか。

適切に作業が行われたことを確認するため、検査をしっかりとやっている旨の資料もつけていただければと思います。

③横須賀（部）防災型浮棧橋整備工事<工事；一般競争契約>

落札率が65.8%ですが、大丈夫だったのですか。

それでも2,000万円と5,340万円とで応札額に大きく開きがあります。

当該工事は杭を4本打設し、その間に浮棧橋2基を保留させるものです。

落札した錦海運は地元横須賀に事務所があり、地の利があったこと、また海上工事で使用する起重機船やその他機材、自社船を所有していることから、この金額で応札することができたものです。

また、経営状況や施工実績等についても確認し、第三管区の他の案件でも施工実績があり、問題なく施工されており、更に国土交通大臣の表彰も受け、良好な経営を行っている業者であることが確認できましたので、全ての面で総合的に検討し、履行可能であると判断しました。

使用機材等の損料は適正に積算し、計上しています。

起重機船等の損料は積算において計上していないのですか。

他の管区の同種工事においては落札率が86～96%となっていますが、この案件は良い事例ですので、他の案件にも反映していくことはできないのですか。

早くできたということは、工期の設定の面から更に安くできたのではないのですか。

コンサルの中身について適正に見直しを実施する等のチェックの仕方についても工夫が必要ではないでしょうか。

④備讃瀬戸海上交通センター（局舎）耐震改修建築工事<工事；一般競争契約>

免震装置の購入はこの契約とは別の契約ですね。

金額はいくらですか。

免震装置はいつ取付けるのですか。

どのような入札方法ですか。

応札者は何社ですか。

それも奥村ですか。

今回、応札価格に開きが生じたのは、落札したこの業者が過去の実績や地域性からどうしても落札したいため、ぎりぎりの経費で応札してきたためと思われます。

この種の工事は、それぞれ地域で事情が異なりますので、この案件を実例価格としても、積算等を行ううえでなかなか反映しづらいです。

この工事を発注するうえでコンサルを実施し、地盤等の調査結果等に基づき工期を定め、積算を実施しています。

そのとおりです。

47,250千円です。

今年度については免震装置の購入までを行い、来年度取付けます。

一般競争入札です。

1社です。

オイレス工業です。

どのようなタイプの装置ですか。

積層ゴムタイプです。

これを採用した理由を教えてください。

実施設計でコンサルから提案されたものを採用しました。

この建物を新築する場合の金額を教えてください。

業務を継続している状況から建替えは想定していません。

柱にコンクリートによる巻立て補強を行っていますが、これだと荷重が増え、基礎に負担がかかり、基礎工事も加わる等悪循環となり、コストが高くなってしまいます。

コンサルで検討されているものと思いますが、最終的にコンクリートによる巻立て補強が提案されています。

他の工法の検討はされていないのですか。

工法とか、免震装置をどれにするとか、技術的な比較検討を実施設計で行った結果としての提案に対し金額的な検討も行い、妥当であると判断しました。

最近では炭素繊維による補強もあります。

コンサルの設計の考え方が古いように思います。

事務方は金額の問題が主となりがちで、技術的な検討については難しいものがあると思います。

新しい工法を採用する場合において一つのコンサルの提案だけで本当にいいのだろうかという問題があります。

コストミニマムであるとか、技術的に工法が正しいかどうか判断する必要もあると思います。

今後の検討課題という意味で申し上げます、特に新しい装置、工法を使う場合には、技術の専門家等で構成する委員会を立ち上げて検討する等により技術的な検討を十分行っていただきたいと思いま

す。

これからどんどん技術の進歩があると思いますが、技術的なものを事務方が判断することは困難であると思いますので、それをカバーできる方策を考える時期にきているのではないのでしょうか。

⑤平曾根灯台改良改修工事<工事；一般競争契約>

最近の沖縄県の入札状況として昨年度は落札率70%以下が多かったのですが、今年度は90%を超えるものも出てきています。

なぜ落札率が100%になったのか教えてください。

応札者が少ないことは理由があるのですか。

昨年、沖縄は指名停止が多かったですが。

公告期間は几日ですか。

応札者はどのように入札していますか。

工期は203日間でよろしいですか。

昨年度の沖縄県の落札率は最低が4

入札参加資格がCランクであり、このクラスは予定価格20,000千円未満の工事であることが明確であり、入札は税抜きですので、これらの要素から区切りがいい予定価格19,000千円に当てはまったと考えられます。

また、入札前に参加者から内訳書を提出してもらい、直接工事費、諸経費等を確認したところ多少凸凹はありますが、ほぼ一致している状況でした。

昨年は県の工事で指名停止があったと記憶しています。

今回の工事においては入札参加申込者は3社であり、仕様書を取りに来たのは7社でした。

8月9日～30日までの21日間です。

電子入札です。

9月10日から3月21日までです。

昨年度は撤去工事で40%程度のものが

0%、平均で70%前後だったと思いますが。

工事についてですが、鉄筋を配筋し、コンクリート打設を行っていますが、海水に浸り、構造体に悪影響を与えているのではないですか。

何らかの防錆措置をしているのですか。

鉄筋が腐って爆裂しませんか。

鉄筋を被覆した製品もありますが。

今回はなぜ使わなかったのですか。

金額の問題で鉄筋の仕様を落とすことは疑問に思いますが。

海上における補修工事ということですが、なぜ9月から長期にわたり発注したのですか。

沖縄は9月の台風時期も荒れますが、1、2月も荒れます。

あまりいい時期とはいえませんが。

落札率についてですが、歩掛りは公表されているのですね。

数量表も公表していますか。

ありました。

平成18年7月から12月までで13件あり、平均89%でした。

施工性、作業時間の短縮を考え、普通鉄筋を使用しています。

水中コンクリートを使用しますので、ある程度は保護できると考えています。

船着場新設時にはエポキシ樹脂鉄筋を使用しています。

規模及び内容から考え、予算的にも軽減しました。

海象を考え、十分な工期をとりました。

この海域は漁業権が設定されておりまして、それらとの調整期間もありました。

公表されている港湾局の積算基準を使用しています。

仕様書で数量を公表しています。

経費はどうか。

直工が分かれば、同じになりますね。

この工事においては複雑な工種がないので、ずれる要素がないですね。

経験者であれば近い数値を出すでしょう。

これらをわかりやすく説明できることが大事です。

⑥防災型浮棧橋係留設計業務<建設コンサルタント業務等；一般競争契約>

あまりにも安い、この種の設計については300万円～400万円位かなという感覚があります。

なぜこのような価格で実施できたのか、また履行可能と判断したのか教えてください。

積算基準に掲載されています。

単純な工種ですので、経験があればつかめると思います。

予定価格につきましては港湾土木積算基準を用いて積算しており、入札参加者6者のうちの真ん中位の価格となっておりますので、適正であったと判断しています。

ご指摘の異常に低い価格で落札されていることについてですが、まず、錯誤があったかどうかについて落札した業者から聞き取り調査を行い、錯誤は無い旨を確認しています。

聞き取り調査の中で、長良川河口堰浮棧橋設計業務を実施した実績もあり、この際に構築したプログラムを利用すれば設計可能と判断し、この価格で応札したとの回答がありました。

更に同社は、これまで北海道での受注実績がないことから、何としても北海道での実績を挙げたいとの会社の意向によりこの価格で応札したとのことです。

長良川河口と海とでは全く異なります。

技術者や実績等について確認したのですか。

歩掛り上、主任以外の技術者についても積算されていますので、そうした技術者がいるのかどうかの確認はしていないのですか。

何か問題となるような事態となった場合には海上保安庁の責任が問われますが。

今回のコンサル業務は来年度整備のためのものですか。

このコンサルの成果物を設置工事の業者も確認しているのですね。

設計にあたっては様々な自然条件や外力、静穏度等の繰り返し計算になりますが、この設計業務はやさしい設計ではないのです。

仕様書にも記載していますが、主任技術者を定め、資格・実績等履歴書を添付して提出を求めており、その書類の提出を受け、提出された資料の内容確認を実施しています。

当方に技術的なノウハウがないため、こうしたコンサル業務を実施している訳でして、成果品が正当なものなのかどうかについては、こうした計算を行った根拠資料や業者からの説明から納得いくものであるかどうかで妥当性を判断しているということです。

何か問題が発生した場合には、コンサル業者の瑕疵として必要な対応を取ることを契約書に明記しています。

今年度の工事のためのコンサル業務でして、既に12月末に問題なく履行を完了しています。

設置工事の業者は地元北海道の業者であり、北海道の自然条件等にも熟知しています。

その業者もコンサル結果や図面を確認し、問題なく施工できると判断し、実際に履行を終えています。

我々に技術が無いゆえこうした業務を実施しているのであって、その成果物について適正なものなのかどうかを確認するとなれば、新たにお金を掛けて確認するほかありません。

ポンツーンを作っている業者に確認させるという方法があります。

数字だけのチェックでいいのか、委員会を設けるなり、チェック体制を確保する必要があると思います。

建築系においては実際に従事する技術者や持っている資格、専従している他の事業等を詳細に確認し、重複するような場合には排除するといった厳しいチェックがなされていますので、こうしたことも参考として体制を確保することが大事になってきます。

⑦新第五種制服上衣9,965着ほか1点製造<物品；一般競争契約>

こういった制服の参加業者は、いつも大体絞られているものなのですか。

服を製造する業者というのは、日本では大手の他中小などもあり、かなり多いのですが、制服ということや、扱う生地などから得手不得手があり、特定されるというわけではありませんが、ある程度は限られてくると思います。

仕様書の生地についてですが、特定の業者しか扱えないものなのですか。

このポリエステル、レーヨン、難燃ビロンは、一般的な素材と言えます。

一気に全部注文するのですか。

今回は一気に作ってもらいますが、通常の損耗分の交換等であれば、例年なら1,000から2,000着程度になります。

サイズを予測して作っているのであれば、かなり歩止まりが悪いのではないのですか。

各職員から申告のあったサイズに基づいて数量を決めており、それにバッファをプラスしています。

出来上がったものについての強度や縫製のチェックはどうやっているのですか。

我々は専門家ではありませんので、財団法人日本繊維製品品質技術センターに検査してもらっています。

ほか1点というのは何を指していますか。

上衣のほかにズボンが1点あるということです。

この制服の図面は誰が作ったのですか。

第五種制服を作っている業者に試作品を製造してもらったのですが、そのときに書いてもらいました。

その業者は今回応札していますか。

今回応札した中の1社です。

この図面の作成は有料ですか。

試作品の製造に合わせて書いてもらいました。

既存の夏用である第四種制服と同一のデザインになっています。

落札した山甚物産がデザインも作ったのですか。

試作品を作ったのが山甚物産で、そのときに書いてもらいました。

商社を通すメリットは何かあるのですか。

大手は生地を作るメーカーであって、縫製工場があるところであれば良いですが、そうでなければ縫製等その他の作業については、分業しており、それを商社がとりまとめています。

メリットはケースバイケースであると言えます。

予定価格の市価とは見積もりのことですか。

2社です。

何社から取ったのですか。

2社で良いのですか。

なるべく複数者から見積を徴取すること

<p>何社取るかという基準はないのですか。</p>	<p>としております。</p>
<p>いくらといくらだったのですか。市価とはどういう意味ですか。</p>	<p>価格は1着あたりの原価計算で積算しています。</p> <p>ちなみに、上衣についてはA社は7,607円、B社は8,126円、当庁は5,961円、ズボンについてはA社は7,450円、B社は7,913円、当庁は6,973円です。</p>
<p>見積もりを取った2社しか応札していないので、公平性があるとは言えないのではないですか。</p>	<p>仕様は一般的なもので、公告期間も充分ありましたので、どの業者でも参加する機会があると考えています。</p>
<p>例えば簡略化した図をまず出して、入札に合わせて図面を出しなさいというやり方にしたら良いと思います。</p>	<p>仕様書を取りに来た業者は9社あり、そのうち2社が応札しています。</p> <p>今回は第四種制服と同じデザインなので、同じようなものが出来ると思っていました。</p>
<p>もっと格好良いものにしたら良かったのではないですか。</p>	<p>映画海猿で第四種制服が使用され、知名度が高くなったので、同一のデザインとしました。</p>
<p>⑧測量船海洋ナローマルチビーム音響測深機換装工事<役務等；随意契約></p>	
<p>この随意契約の契約結果書は公表されているものなのですか。</p>	<p>公表しています。</p>
<p>指名停止期間中の業者と契約するための承認手続きにおいて、海上保安庁次長から海上保安庁次長に対して申請している文書がありますが、簡略化できないの</p>	<p>同じ者ですが、支出負担行為担当官である海上保安庁次長から部局長たる海上保安庁次長への申請です。</p>

ですか。

手続きに基づき作成していることはわかりませんが、見る人の立場、国民の立場からすると不可解です。

審議結果

入札については概ね公正に行われていたものと判断しております。

それでも更なる努力をしていただき、引き続き公正な入札が行われるようお願いいたします。特に説明責任というものが求められる時代でありますので、情報の公開ということに努力していただきたいと思えます。

なお、審議でも触れましたが、契約率のデータの公開だけではなく、その過程でディスカウントしていった経緯があると思えますので、そういったことも説明でき、かつわかりやすく公開するということが大事だと思えます。

また、新しい技術への対応をどうするかということを考えていく必要があります。技術に対する金額の面だけではなく、技術的なチェックということが今後必要になってくるのではないかと思います。特にコンサルティング業務の場合、成果物がそれで本当によいのかということについては、海上保安庁のみならず国土交通省全体を含めていろいろと相談できる機関があると思えますので、そういう機関も使いまして技術のレベルを向上させ、チェック体制を構築していくことが必要ではないかと思います。